



発行日：平成14年10月7日 さいと直子事務所 〒335-0023 戸田市本町5-2-20-1104
 TEL&FAX 048(441)3625 E-MAIL naoko@naoko-sai.to
 ホームページ http://naoko-sai.to

発見その15 戸田は自主財源が8割！

9月の定例議会は平成13年度の決算検証が中心でした。決算書の収入済み額の財源をみると、歳入総額544億6966万円（**一般会計340億4493万円**＋特別会計204億2503万円）。市の基本的歳入と歳出を經理する**一般会計**の自主財源は、昨年より2億2239万円増の**272億2690万円**でした。地方自治体の財源には自治体が自分で調達する「自主財源（地方税等）」と国から与えられる「依存財源（地方交付税、国庫支出金、地方債等）」があります。

市が集める税金の主なものは、住民税（約85億）固定資産税（約115億）軽自動車税（約45百万）都市計画税（約16億）市たばこ税（約8億2千万）等で、その他の収入として、公民館やスポーツ施設等の使用料（約3億8千万）、住民票や粗大ゴミ処理等の手数料（約1億88百万）や競艇の収益事業収入（10億）等で、一般会計の80%を占めています。

平成13年度のこれらの使い道は、21世紀のはじまりの年に市制施行35周年を迎え、tocoバスの運行、ファミリーサポートセンターの誕生や乳幼児医療費制度の充実、窓口サービスの時間延長等、様々な事業となりました。厳しい財政環境の中、財政の健全性で戸田は県内トップを維持しているのです。小さくてもキラリと光るまちとして、さらなる私たちの生活の向上をめざし、無駄のないようチェックしていきます。

はみだし情報 プリザーブドフラワーをご存じですか？

“永遠に咲く魔法のお花”のことで、生花のフレッシュな柔らかさとドライフラワーの持続性を持った特殊加工の花です。ヨーロッパでは早くからウェディングブーケや室内のインテリアとして取り入れられていますが、日本では、まだあまり知られていません。

発見その16 リサイクルプラザ誕生で新分別！

1日6000人分の効果！

ゴミの分別方法が変わって「めんどくさい」「わからな〜い」とお嘆きの方、効果を知ると思わず励んでしまいそう。

9月にスタートしたばかりですが、現時点でざっと1日6t、1日に出すゴミの量は1人あたり約1kgですから6000人分のゴミを燃やさずにすんでいるそうです。燃やす量が減ればダイオキシンの発生を抑制しますし、1t燃やすと2400kg排出する二酸化炭素も削減できます。10年後には目標1日33000人分！達成するかは私たち次第ですが、**より効果的にする大きなポイントは2つ。**



紙類はすべて資源ゴミ。菓子箱に使われたりする板紙、ミックスペーパーにリサイクルされます。ただし、良質の紙が要求されるので、感熱紙や油紙、鼻をかんだり、食べかすや糊が着いている紙類は燃えるゴミに。また、紙とビニールと混合して迷う場合はプラスチック類へ。紙類の分別には紙袋をゴミ箱代わりにすると便利です。なお、晴れている回収日にお出しくださるようご協力ください。



プラスチック類も汚れは禁物、紙ほどではありませんが、重さで業者は引き取ってくれますから、プラスチック以外のものでも重さが増せば取引しにくくなります。買い物した商品をチェックするとプラのマークをよく見つけます。宝物探し気分で分別してみませんか。



ペットボトルは今まで通りの回収方法ですが、蓋だけは必ずってプラスチック類に！蓋がはずされていれば、それだけ作業時間が短縮され処理コスト削減となり、リサイクル原料としての価値も上がります。



そんなプリザーブドフラワーを学び体験レッスンできる教室が、戸田市内にできました。

興味のある方は

Tommie J. Flower教室
 (048)441-0278 まで。

報告その3 戸田市の合併問題 4市合併不参加を表明

市民意識調査では 約7割が 合併を必要とは思わないと回答。

新聞報道で 大きく取り上げられ ご存知の方も多いと思いますが、神保国男戸田市長は8月8日に記者会見を開き、「戸田市は 4市合併に参加しない」旨を正式に宣言し、さる9月議会でも正式に表明しました。

県南4市合併から戸田市が離脱 (朝日新聞)

7割「必要でない」 市民意識調査中間結果発表 (埼玉新聞)

県南4市合併戸田市が離脱 市民アンケートで7割が不要 (産経)

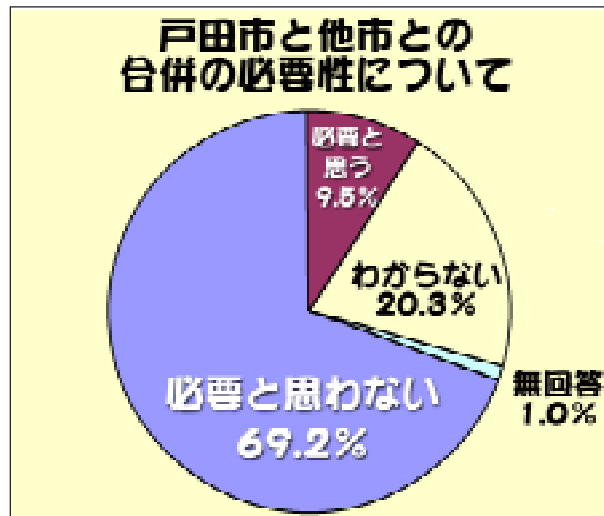
戸田市が合併協議離脱 住民調査で市長が表明 (東京新聞)

「合併不参加」戸田市長宣言 (読売新聞)

(新聞各誌の見出しより)

戸田市が、川口、蕨、鳩ヶ谷との県南四市合併問題の判断基準にしていた市民意識調査の中間集計結果の速報値で、【他市との合併は必要とは思わない】と回答した市民が全体の約7割を占めたことから、神保市長は「市民の考えが明確になった。戸田市は合併協議には参加しない」と表明しました。

市民意識調査結果では、合併に関する質問七項目のうち『戸田市と他市との合併の必要性について、どう思いますか』の問に 69.2%の方が【必要とは思わない】と回答し、【必要と思う】と答えた方は9.5%と 全体の1割にもなりませんでした。



また、【必要と思う】と答えた方に『どんな組み合わせが望ましいか』を尋ねたところ【戸田+川口+蕨+鳩ヶ谷】の4市を選んだ方は、さらにその半分にもならず、全体としてみれば 4.6%の方が4市合併に賛成という結果になりました。

神保市長は「正直こんなに差がつくとは思っていなかった。政令市への魅力や期待はなく、多くの市民が独自に街づくりをすべきだと考えている」「調査で一つの方向性が示された。市民の意向を尊重したい」「住民福祉を最優先に街づくりを進める」等述べられました。

報告その4 埼京線 朝通勤帯に 3本増発

品川の臨海部にある「天王洲アイランド」を所属する都市計画研究部会で視察しました。民間主導の地権者22社独自のまちづくり計画がスタートということで脚光を浴びましたが、個性の強い地権者同士が統一感を持つには大変な情熱と行動力が必要だと想像します。成功に繋がった秘訣はマスタープランの作成やルールづくりを妥

協せず初めにきちんと決めたことにあるようでした。

今年の12月1日には その「天王洲アイランド」がとても身近になります。りんかい線が大崎駅までの全線開業となることで、埼京線と相互直通運転となるからです。ますます便利になる戸田市！期待がかかります。

この開業にあわせ12月のダイヤ改正から望みの1つだった8:09~24までの空白の時間帯に赤羽始発が武蔵浦和始発に変更されるのを含め、7時から9時までのラッシュ時に3本増便されます。

